

消防局

議案第121号 製造請負契約の締結について（救助工作車III型）

議案第121号製造請負契約の締結について（救助工作車III型）、ご説明させていただきます。

説明資料の2ページをお願いします。

本件については、「大津市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」第2条に規定する「議会の議決に付さなければならぬ契約（予定価格1億5千万円以上の製造の請負）」に該当し、契約締結に際して、議案を提出するものです。

説明資料の3ページをお願いします。

製造請負契約の締結について、ご説明させていただきます。

製造品名は、「救助工作車III型」、製造概要は資料に記載のとおりでございます。

契約方法は、一般競争入札で、令和6年5月22日に入札を行い、仮契約を令和6年5月24日に締結し、納入期限は令和7年3月31日、納入場所は消防局警防課としております。

説明資料の4ページをお願いします。

開札結果について、ご説明させていただきます。

開札結果は、2者からの入札があり、入札書記載金額1億5千980万円で落札となりました。

契約金額は、税込、1億7千578万円、契約の相手方は、「株式会社モリタ」でございます。

説明資料の5ページをお願いします。

新しく更新する「救助工作車」の必要性と詳細について、ご説明させていただきます。

まず、写真の車両についてですが、こちらは令和5年度に更新しました南消防署の救助工作車になります。今回、更新させて頂きました中消防署の救助工作車については、同型の車両で設計しております。

現在、救助隊については北消防署と南消防署、そして中消防署の3隊を配置しております。

北消防署と南消防署の救助隊は、「特別救助隊」として運用しておりますが、中消防署の救助隊は、地震等の大規模災害時に使用します「高度救助用資機材」を装備するなど「高度救助隊」として運

用しております。

また、海外で発生した大規模災害にも派遣する「国際消防救助隊」にも登録されております。

説明資料の 6 ページをお願いします。

車両の概要としましては、主な装備に、クレーン、ワインチ、照明装置があり、ハイルーフキャビンを採用することで、後部席では立ったままウェットスーツなどに着替えることができます。

また、水難救助、山岳救助用の資機材を含め、多くの救助用資機材を装備することから、収納に工夫を重ね、車両の隅々まで積載できるよう設計しております。

説明資料の 7 ページをお願いします。

次に救助用資機材について、ご説明させていただきます。

大型油圧救助器具は、事故車両の屋根を切断したり、ドアを開放したりする資機材です。現在はエンジン式ですが、新しい器具はバッテリー式で、油圧ホースがないため取り回しがよく、現場での騒音解消にも繋がります。

高度救助用資機材のひとつ、画像探索器は、震災時の倒壊した家

屋に、棒状のカメラを差し込むことで内部が確認できる資機材です。カメラの視野が360度のため、内部が瞬時に確認できるものとなっています。

酸素呼吸器については、最大で4時間、呼吸をすることができ、トンネル火災など、長期間の活動が可能となる資機材になります。

最後に、現在の車両については、平成19年度に配備された車両で、今年度で17年が経過します。

以上、議案第121号製造請負契約の締結について（救助工作車III型）のご説明とさせていただきます。

どうぞよろしくお願ひいたします。